

No.121  
2018/6/20



# OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118

E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp

HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

## 名大との法人統合（「東海国立大学機構」構想） についての学長懇談会を開催 ～組合としてどう対応するか～

「先行事例として法人統合を成功させたい」という学長の強い意気込み！  
事務一元化による業務量の「増大」が懸念 慎重な議論を

3月22日の報道以来、法人統合が大学内外で話題となっております。4月18日には名大との第1回目の協議が行われました（その後、5月21日に第2回目の協議を実施）。開始法人統合協議の行方はどうなっているのか、法人統合後の管理運営体制はどうなるのか、職員の労働条件や職員がおかれる労働環境はどのような影響を受けるのか、などについて、岐阜大学で働く職員を守る役割を担っている組合としては正確に情報を得ておく必要があると考えます。そこで、法人統合に関する正確な情報を共有するため、4月26日に学長に懇談会の開催を要求し、5月18日に行われました。

懇談会は、本部棟2階特別会議室にて17時半より1時間ほど行われました。大学側からは、森脇学長、福井理事、大藤理事、総合企画部長、人事労務担当職員が出席し、組合からは、椎名委員長、宇佐美副委員長他3名の組合員が出席しました。

まず、資料に基づき、学長から法人統合の背景や経緯、名大との協議内容について説明がありました。その後、意見交換を行いました。

法人統合の背景として、18歳人口の減少と人口の都市（特に東京）への集中への対応が必要との認識が示されました。また、中央教育審議会（中教審）大学分科会による「大学の強みの強化と連携方策について（案）」に、連携方策として「国立大学の一人法人複数大学制の導入」が言及されていることや、国立大学協会（国大協）の「高等教育における国立大学の将来像最終まとめ」に「全都道府県に少なくとも1つの国立大学」の原則は堅持しつつ、「複数の地域にまたがって、より広域的な視野から戦略的に国立大学（キャンパス）間の資源配分、役割分担等を調整・決定する経営体の導入」が言及されていることが紹介されました。

また、中教審の「大学の強みの強化と連携方策について（案）」に記載の「地域連携プラットフォーム（仮称）」と関連して、岐阜県内の公立大、私立大を含めた新しい機構の構想につ

いても言及がありました。名大との法人統合とともに、岐阜地域の中で岐阜大学が果たす役割の必要性が語られました。

名大との法人統合については、以前から非公式に打診があったということです。また、名大の指定国立大学の指定の際の構想にあった「マルチキャンパス」との関連については、あまり言及されませんでした。

その後、意見交換を行いました。

＜組合＞法人統合した場合の事務一元化で事務職員の負担は大きくなることを懸念している。名古屋に機構の本部が置かれる場合、職員の勤務地にも変化が出てくるのでは。

＜大学＞仕事量は増える可能性がある（事務量が3.3倍になるという試算がある）が、新しいシステムの構築などで効率化を図る。勤務地についても、岐阜でもできることはある。

＜組合＞III 類型の名大とI 類型の岐大とでは法人統合に無理があるのでは。統合した場合、I 類型としての責任（地域貢献）はどうなるのか。重複する分野の統廃合はあるのか。

＜大学＞管理運営は統合するが、各大学の部局組織には手をつけず、それぞれの役割を果たせるようにする。教員人事も各大学の主体性を尊重する。

＜組合＞学内の構成員（教職員や学生）の意見に耳を傾けて、民主的手続きを尊重することが重要である。

＜大学＞その通りだと認識している。

＜組合＞統合協議に先行して、連携を検討している部局があると聞いたが、どうなのか。

＜大学＞農学分野で連携について検討を始めている。

＜組合＞教養課程の一部共通化はどういうことを想定しているのか。担当教員の労働強化や教育内容の統制につながらないか。

＜大学＞第2 外国語教育の充実を図ることを考えている。

＜組合＞岐阜県内の国公立大学を含めた「プラットフォーム」構築の方が地域貢献という点で法人統合よりも重要な意味を持つのでは。

＜大学＞両方のミッションを果たす必要性がある。

懇談会の開催時では、まだ第1 回目の協議を終えたばかりであり、法人統合後の全体像について不明な点が多いという印象でした。学長や理事の回答でも、具体性がないものやどこか「玉虫色」のように感じるものがあったように感じました。一部の新聞報道では法人統合（名大との「合併」）があたかも既成事実であるかのような論調があります。しかし、そうではないことが懇談会によって明確になりましたので、今後も慎重に協議することが必要です。

また、懇談会を随時開催して大学構成員への説明責任を果たすことを要求しました。この件に限りませんが、何かしら変革しようとする際には、意義の有無はどうであれ、「メリット」ばかりでは決まてないと思います。実際、事務作業量の増大を示唆する発言がありました。法人統合に伴う「デメリット（不都合や困難な面）」についても隠さずに大学構成員に向けて説明することを強く求めていきたいと思っています。

一方、「国立大学法人における一法人複数大学経営」については国立大学法人法の改正を必要とする案件であるものの、未だ法律は改正されておりません。学長からは「先行事例」として成功させたい（予算獲得もあるかも）という意気込みが強く感じられました。それ以前に、「国全体として国立大学をどうするか」という大枠の議論が必要であることも指摘しておきます。

（第34 期中央執行委員長 椎名貴彦）

## 第 89 回県中央メーデーに参加して



県労連主催のメーデーに 10 年ぶりくらいに参加しました。岐阜大学からは 4 名の参加でした。27℃の炎天下での開催でした。黄金色の信長像の前の広場（JR 岐阜駅北口広場）での集会（400 名の参加（主催者発表））後は、サウンド宣伝カーを先頭に金公園までのデモ行進でした。

以前は岐阜大学職組からは 20 名くらいの参加があったように記憶しています。その頃はデモ行進のあとは柳ヶ瀬の「宇を徳」で昼食会があり、その場で支部の簡単な活動紹介もあったので、それなりに動員をかけていたのでしょう。また OB の方の参加もあり「毎年欠かさず参加しています」宣言をされていたのを思い出します。

今回はメーデーの原点でもある 8 時間労働制を確認しながら「最低賃金 1,000 円以上を！」を中心としたシュプレッヒコールで、労働組合らしいデモだと感じましたが、以前はもっと平和の問題や時事の社会批判もあったように記憶しています。

なお、翌日の岐阜新聞の記事では「岐阜大学職員組合」の旗が鮮明に写っていたので、少しは存在をアピールできたかなと安堵しています。デモ行進は警察の誘導はあるものの、車道を堂々と歩けるのは気分のいいものです。いつからか私たちの「道」は端に追いやられて、「守られて」「決められた」ところ（＝歩道）しか歩けなくなったのにも想いを寄せてみませんか？



\* 豆知識：このメーデーの会場設営や準備等の裏方は県国公（岐阜県国家公務関連労働組合共闘会議）が担当します。以前役員をしていた時は事前準備や当日の設営等に汗を流しましたので、久しぶりにお見かけした顔がありましたが世代交代していました。

（工学部支部 山口利哉）

## 組合でも新歓コンパを開催しました！

6 月 11 日（月）18 時より、生協食堂医学部店にて職員組合新規加入者の歓迎会を開催いたしました。出席者は 22 名；そのうち新規加入者は 6 名でした。組合執行部の挨拶・乾杯の発声の後、新規加入者からも御挨拶をいただきました。

宴たけなわの折には、「〇〇県出身者が多い！」という話が出たり、昨今の本学の組織改変計画のあり方への真摯な議論が出たり、とあ



こちらで談論風発の様相を呈し、大いに盛り上げていただきました。筆者も新規加入の教育学部教員に、恐れ多くも英語教育のトピックで議論を吹かけたりしてしまいました。全くのど素人が色々と御迷惑をおかけしてしまったのではと思いました。

しかし、このように部局・職種・専門等に関係なく、自由に意見・情報を交換できる場の提供というのも職員組合の1つの重要な役割と思います。今後も、このような場を設け、組合員同士の交流の輪を広げて行きたいと考えています。

(副委員長 宇佐美広介)

## 恒例！サマーパーティーのご案内

今年は応用生物科学部支部主催のサマーパーティーです。  
柳戸農場でバーベキューを行うという素敵な企画です。ぜひご参加ください。

日 時 2018年7月25日(水) 18時より ※雨天決行

会 場 柳戸農場・農機具庫

会 費 組合員の参加者 500円、非組合員の参加者 1000円

その他

- ・家族同伴可です。
- ・参加申し込みは7月20日までに組合事務室まで。
- ・当日の飛び込み参加も歓迎します。

問合せ先 岐阜大学職員組合事務室  
Tel・fax 058-230-1118 (内線 9552), [shibata@gifunion.sakura.ne.jp](mailto:shibata@gifunion.sakura.ne.jp)

